年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	１学年	国語	４時間／週

教科書
伝え合う言葉　中学国語１　(教育出版)

補助教材
明治図書「よくわかる国語の学習1」・浜島書店「国語便覧」・東京法令出版「5回書き込み式漢字練習ノート」

年間指導目標
・知識の定着と活用 ・文章と対話による表現力の育成 ・情報リテラシーの育成

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	○中間・期末テスト ○漢字小テスト ○文法小テスト ○作文	知識に関しては各テスト、授業内における小テストによる観点別問題で行う。技能に関して、漢字の知識が身に付いているかを評価する。 加えて、文法の識別・課題作文などでも評価する。知識・技能を点数化して合算し、満点の８割程度以上をA評価、３割程度以下をC評価とする。
思考 判断 表現	○中間・期末テスト ○スピーチ ○レポート・ポスターなど ○日々の授業プリント ○暗唱	各テストにおける観点別問題で評価する。話し合い活動やスピーチにおける表現の仕方などで評価する。古典の暗唱テストを行い、古文独特の言い回しなどを適切に理解して表現できるかを評価する。満点の８割程度をA評価、３割程度以下をC評価とする。
主体的に 学習に 取り組む 態度	○日々の授業プリント ○振り返りの内容 ○提出物 ○日々の授業態度	主体的に理解するまで学習に取り組む姿勢を評価する。また、単元ごとの振り返りを行い、何を学んだのか・疑問に思ったことは何か等、確認したものを評価する。満点の８割程度をA評価、３割程度以下をC評価とする。

授業の評価について	
注意事項	・観点ごとに評価をします。全ての観点がA評価(おおむね８０％以上)で、最高評価の「５」がつきます。 ・評価材料については、記載してあるもの以外の材料で評価することもあり得ます。その場合は、確実に授業で連絡します。
アドバイス	・中間、期末テストの点数ももちろん重要ですが、小テストや日々の授業プリントの積み重ねもしっかり見させてもらい、評価します。 ・話し合いや協働学習の時間を取っていきます。その活動を積極的に行うことが国語力向上につながります。 ・漢字の読み書きは地道に取り組んで、知識として定着させることが大切です。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	・ふしぎ ・聞くということ ・桜蝶 ・文法の小窓１	・小テスト（知） ・授業プリント（思・主） ・振り返り（主）
	5	・自分の脳を知っていますか ・漢字の広場１	・小テスト(知) ・授業プリント(思・主) ・振り返り(主)
	6	・言葉の小窓１ ・構成を考えて話す ・ベンチ	・期末テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・授業プリント(思・主) ・振り返り(主)
	7	・写真で「事実」を表現する ・漢字の広場２ ・材料を整理して案内文を書く	・授業プリント(思・主) ・発表(思) ・振り返り(主) ・小テスト(知)
夏休み	8		
2学期	9	・森には魔法使いがいる ・文法の小窓２ ・SDGｓ	・中間テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・発表、レポート、ポスターなど(思・主) ・振り返り(主)
	10	・昔話と古典 ・物語の始まり ・故事成語	・授業プリント(思・主) ・振り返り(主) ・暗唱(思) ・小テスト(知)
	11	・蜘蛛の糸 ・河童と蛙 ・オツベルと象	・期末テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・授業プリント(思・主) ・振り返り(主)
	12	・言葉の小窓２　　・子どもの権利 ・漢字の広場３ ・書き初め ・百人一首	・授業プリント(思・主) ・振り返り(主) ・小テスト(知)
3学期	1	・言葉がつなぐ世界遺産 ・報告文を整える	・小テスト(知) ・発表、レポート、ポスターなど(思・主) ・振り返り(主)
	2	・文法の小窓３ ・漫画で「物語」を表現する ・漢字の広場４	・学年末テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・授業プリント(思・主) ・振り返り(主)
	3	・四季の詩 ・少年の日の思い出 ・言葉の小窓３	・小テスト(知) ・授業プリント(思・主) ・振り返り(主)